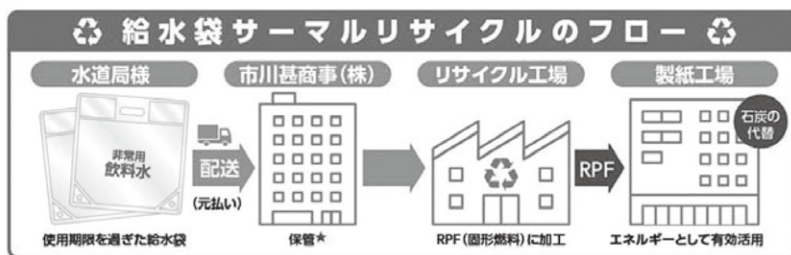


日本水道新聞で紹介されました

日本水道新聞 2024年3月11日(月) 掲載



給水袋をリサイクル 市川甚商事 4月から全国展開



大口キャップを採用

市川甚商事(本社=東京都)は4月から、耐用年数を過ぎた非常用給水袋をリサイクルする無料サービスを全国展開する。対象は同社の給水袋の購入者で、化石燃料使用量の低減と埋め立てごみの削減に貢献する。リサイクルには廃棄物の熱エネルギーを回収して利用するサーマルリサイクルの手法を採用した。同社の「ネジキャップ式・背負い紐タイプ非常

用給水袋6L」は、ユニバーサルデザインの考え方に基づいて給水口に広口のネジキャップを採用しており、人手が不足しがちな災害時でもスピーディで衛生的な給水ができるようになっていた。また、水を入れると自立するよう設けられた底マチや、強度があり握りやすい持ち手、柔らかい背負い紐など「一人にやさしい」工夫も凝らされている。なお、車での運搬向けに大容量の10Lタイプ

も用意している。同社は4月から、この給水袋の購入に合わせて耐用年数を超過した給水袋や使用済みの給水袋(他社製品も可)を無料でRPF化し、サーマルリサイクルするサービスを全国展開する。RPFは、石炭やコークスの代替として利用可能な固形燃料で、製紙工場などで使用される。全国展開は、これまで一部地域で実施してきた同サービスへの好評を受

土日祝発送のサービス開始

市川甚商事は4月から、給水袋の緊急発送サービスを開始する。元日

に発生した能登半島地震を踏まえ、出入庫の体制を強化した。土日祝日であっても購入実績者の依頼があればすぐに給水袋を納品する。

